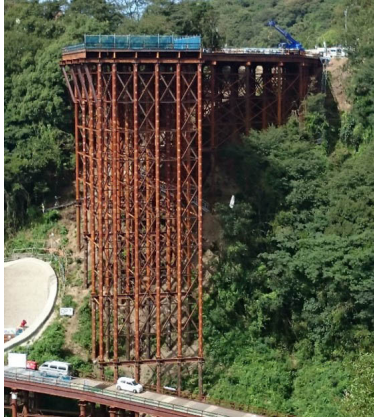


パラミックス工法

NETIS登録番号：(旧) SK-150010-A

パラミックス工法協会

〒769-0104 香川県高松市国分寺町新名1764-1 日本ジュウケンセツ株式会社
TEL 087-874-5128 **FAX** 087-874-7353
URL <http://www.nihonjuuki.com/> **mail** nihonjuukikensetsu@k8.dion.ne.jp
 [資料請求先] 事務局 (TEL.087-874-5128、FAX.087-874-7353)
 [正会員] 日本ジュウケンセツ株式会社 (TEL.087-874-5128)、檜尾建設株式会社 (TEL.0747-36-0041)



紀北西道路雄ノ山高架橋（移行部）上下部工事



滋賀県

概要

パラミックスとは、仮設栈橋構築に必要な支持杭を地表面付近で打ち止め、上部杭と桁材等を地組パネル化したものを取り付ける工法である。これにより、従来では地表面から相当な高さの支持杭の突出による品質・安全性の低下が懸念されていたが、パラミックスでは杭位置管理をより高精度に行うことができ、かつ地組パネル化のため溶接等の作業が大幅に減ることから、山岳地域での施工に非常に効果的で、大幅な工期短縮ができる。

特長

- 急傾斜地や水上などさまざまな地形に対応可能。
- 鋼管杭を採用することにより支持杭の剛性が向上するため、支持杭本数の削減ができる。
- 下部工のパネル化を栈橋上で地組するため、高所作業が激減し安全性が向上する。
- 支持杭と支柱杭を分離することにより、支柱杭は必要最小限の材料コストにすることができる。
- 部材は、ボルト穴や溶接作業等の加工を工場製作で行い、品質・精度が向上する。

施工手順



従来の仮設・栈橋工で必要だった杭頭処理、天端板設置、横断水平プレス設置、縦断水平プレス設置といった作業を省くことができる。

施工例

